

『いい人生にちょうどいい家を 赤ちゃん』篇		
1		ベビーベッドですやすやすと眠る赤ちゃん。それを見ているお父さん・お母さんの声だけが聞こえてくる。「ねえ、この子も将来、家族を持つのかな?」「さあ、どうだろうね」「どんな親になるんだろう」「ちょっと気が早い?」「そっか笑どんな子になるのかな?」「あったか〜い子に育ててほしいなあ」
2		(会話の続き)「じゃ、そういう子に育つ家、買おうか?」「え、家探し?」「はは、そんなちょうどいい家はないか」「さあ、どうだろうね」と、話題が家の話になった。それをよろこぶかのように、赤ちゃんが大きく寝返りをうつ。
3	いい人生に ちょうどいい家を。	企業メッセージ。
4		希望の光を感じる夕焼けの街並みに CI。

『いい人生にちょうどいい家を 夫婦』篇					
1		育児休暇を取り、泣き叫ぶ赤ちゃんを必死にあやしているお父さん。心の中でお母さんに「いつもありがとう」と感謝の言葉をかける。	5		赤ちゃんを抱っこしながら買い物をするお父さん。
2		職場復帰して働くお母さん。お父さんに応じて、「急にどうした?笑」と心で返す。そこから、夫婦の心の声による会話が流れる。	6		仕事を終え、家路につくお母さん。そんなふたりの映像に、「じゃ、そういう子に育つ家、買おうか?」「え、家探し?」「はは、そんなちょうどいい家はないか」「さあ、どうだろうね」といった心の会話が流れる。
3		ひとりでの育児・家事に奮闘するお父さん。	7	いい人生に ちょうどいい家を。	企業メッセージ。
4		プレゼンに奮闘するお母さん。そんなふたりの映像に、「いや、育児って大変だなんて」「パパも成長するんだね」「どんな子になるのかな?」「あったか〜い子に育ててくれたらいいね」といった心の会話が流れる。	8		希望の光を感じる夕焼けの街並みに CI。お母さんの「ただいま」の声が聞こえる。